| 学校番号 | ３０８ |
|---|---|

平成 31 年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 倫理 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校「倫理」　（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | な　し | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・あらゆるものごとについて存在する意味が何かを考える習慣を持つ。
・自分の身近なできごとについて、多くの思想家の主張をふまえて考える。
・自分の生き方について、先人の考え方を参考に、あらためて問いなおす。

2　学習の到達目標

・人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深める。
・生きる主体としての己の確立を促し良識ある公民として必要な能力と態度を育くむ。
・人格の形成における実践的意欲を高める。
・様々な思想を学ぶことで自らの考えを表明することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 西洋・東洋・日本のそれぞれについて文明や社会制度・生き方などについて、それを成り立たせる根本的なあり方について考える姿勢を持つ。 | 西洋・東洋・日本のそれぞれについて文明や社会制度・生き方などについて、それを成り立たせる根本的なあり方について、それぞれの思想家の思想をもとに考察し、自分の生活に結びついた意見を持つ。 | それぞれの思想家の思想や時代背景に関する諸資料を理解し適切な形で整理し、まとめる。 | それぞれの思想家の思想についてその時代背景をふまえた上で理解し、その知識を身につけている。 |
| 評価方法 | 授業ノート<br>授業の参加度 | 定期考査 | 定期考査 | 定期考査 |
| | ［主題学習］<br>１レポート課題発表<br>２グループワーク討議<br>３小論文課題 | ［主題学習］<br>１レポート課題発表<br>２グループワーク討議<br>３小論文課題 | ［主題学習］<br>１レポート課題発表<br>２グループワーク討議<br>３小論文課題 | ［主題学習］<br>１レポート課題発表<br>２グループワーク討議<br>３小論文課題 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期前半 | 青年期の課題と自己形成・人間としての自覚 | 第１章　青年期の課題と自己形成<br><br>第２章　人間としての自覚<br>1　ギリシア思想 | ○<br><br><br><br><br>○ | <br><br><br><br><br>○ | ○<br><br><br><br><br>○ | ○<br><br><br><br><br>○ | a:青年期の特性と課題について自らの状況と重ね合わせて考えようとする姿勢を持つ。<br>b:近代文明の元となったギリシャ思想の意義について現代と結びつけて考察する。<br>c:青年期の特性をまとめた図表を理解し使うことができる。<br>d:青年期の特性と課題、ギリシャ思想について基本的な考え方を理解する | 定期考査<br>授業ノート<br>グループワーク |
| 1学期後半 | | 2　キリスト教<br>3　イスラム教<br>4　仏教<br>5　中国の思想 | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | | ○<br>○<br>○<br>○ | a:宗教の考え方や意義について関心を高める。<br>b:世界の主な宗教についてその根本的な考え方を生活習慣と結びつけて理解し、現代における意義を考えることができる。<br>d:世界の主な宗教について基本的な考え方を理解する。 | 定期考査<br>授業ノート<br>グループワーク |
| 2学期前半 | 国際社会に生きる日本人として自覚 | 第3章　国際社会に生きる日本人としての自覚<br><br>1　日本の風土と伝統<br>2　外来思想の受容<br>3　町人意識のめざめと庶民思想<br>4　西洋思想との出会い | <br><br><br>○<br>○<br>○<br><br>○ | <br><br><br>○<br>○<br>○<br><br>○ | <br><br><br>○<br>○<br>○<br><br>○ | <br><br><br>○<br>○<br>○<br><br>○ | a:日本人のもの考え方や生活習慣の根本がどこから来たものかについて関心を持つ。<br>b:現在の自分に照らし合わせて、どの時代のどういう考え方が基礎になっているかを考察する。またレポートで考えを発表する。<br>c:多くの資料を取捨選択し、レポートをまとめることができる。<br>d:日本人のもの考え方や生活習慣の根本がどこから来たものかについて日本史と関連づけて理解することができる。 | 定期考査<br>授業ノート<br>グループワーク<br>レポート作成・発表 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期後半 | 現代に生きる人間の倫理 | 第４章　現代に生きる人間の倫理<br>1　ルネサンス宗教改革<br>2　経験論　合理論<br>3　民主社会の形成<br>4　カント<br>5　ヘーゲル<br>6　社会主義・現代思想 | <br><br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | <br><br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | | <br><br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | a:現代文明の元となる西洋近代思想について理解しようとする姿勢を持つ。<br>b: 現代文明の元となる西洋近代思想について世界史や日本史と関連づけて理解し現代の中での位置づけを考察できる。<br>c:<br>d: 現代文明の元となる西洋近代思想について世界史や日本史と関連づけて理解することができる。 | 定期考査<br>授業ノート<br>グループワーク |
| 3学期 | 現代の諸課題と倫理 | 第5章　現代の諸課題と倫理 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:小論文課題について取り組む姿勢を持つ。<br>b:自分の考えた見解を順序立てて整理して述べる。<br>c:関係資料を適切に選び、まとめることができる。<br>d:今まで学習したことをふまえ、幅広い視野で知識を持つ。 | 小論文課題 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。